


|   |  |
|---|--|
| <b>西高ニュース</b> 第139号   | 県立伊丹西高等学校<br>住所：伊丹市奥畑3丁目5番地<br>TEL：072-777-3711<br>FAX：072-777-3712<br>HP： <a href="http://www.hyogo-c.ed.jp/~itaminishi-hs">http://www.hyogo-c.ed.jp/~itaminishi-hs</a> |
|  <b>校訓</b><br><b>克己、協調、創造</b> |  |

## 女子バドミント部団体 総体県ベスト16入り

5月26日(土)、27日(日)神戸市立中央体育館にて女子バドミントン総体県大会団体戦が行われました。

初日、2回戦は姫路商業高と対戦3vs0で勝利、3回戦に進みました。3回戦では神戸山手高と対戦し3vs0でまたも勝利。この結果、県ベスト16入りを果たしました。2日目はいよいよベスト8入りをかけて16校が激突。伊丹西は東播磨地区1位の加古川東高と対戦。これまでの練習の成果を出すべくチーム一丸で頑張り必死に食い下がりましたが1vs3で惨敗。3年生にとっては、最後の試合になりましたが、連日放課後遅くまで基礎練習や試合を繰り返し、ひたむきに一生懸命練習した成果を遺憾なく出し切り、新たなチームに期待をつなぐ試合展開となったことでしょう。

## 女子卓球部 阪神地区予選

5月12日(土)、13日(日)鳴尾浜にある県立総合体育館で卓球部総体阪神地区予選会が行われました。当日はシングルスとダブルス、そして学校対抗の形式で試合が行われ、シングルスでは、3年生の西富さんと2年生の古米さんが4回戦まで進出するもここで惜しくも敗退。ダブルスでは、4組が出場しましたが善戦するも上位進出は逃す結果となりました。学校対抗では、尼崎双星高と対戦しましたが敗退しました。

## 放送メディア部 第65回NHK杯高校放送コンテスト兵庫県大会 地区予選 準決勝・決勝へ進出

6月3日(土)、4日(日)伊丹にある大阪芸術大学短期大学部で第65回NHK杯全国高等学校放送コンテスト兵庫県大会第一地区予選が行われました。アナウンス部門に3名、朗読部門に6名、ラジオドキュメント部門に2作品、創作ラジオドラマ部門に2作品が、参加・出品。このうち、アナウンス部門で佳作2名、朗読部門で入選1名・佳作2名、そしてラジオドキュメント部門で入選が1作品と佳作1作品、創作ラジオドラマ部門に2作品がともに佳作に選ばれ、このうち入選した部門については6/16、6/17の県大会準決勝・決勝への進出が決まりました。2年連続の全国大会出場をめざしてがんばります！

## バレーボール部 男女とも総体で健闘

6月2日(土)女子バレーボール部は3年生の引退をかけた総体の試合です。この試合は2回戦から出場。2回戦は明石西高校との試合で、2-1で勝利し、3回戦へ。3回戦では松陽高校と対戦し、惜しくも1-2で敗退しました。一方、男子バレーボール部もこの日、3年生の引退をかけた試合。三田西陵高校と対戦しましたが0-2で敗退。結果はともあれ、これまでチーム一丸となって練習に励んできた成果を十分に発揮し、頑張りま

した。両チームとも今後は新チームを結成し、新たな決意のもと次なる目標を目指して励んでくれることであろう。

## 1年生 進路講演会

### 「新入試に向けて今からできること」

6月6日（水）6限LHRの時間。1学年は2年後直面する新入試システムに対応できるよう、（株）ベネッセコーポレーションから特別講師をお招きし、進路講演会「新入試に向けて今からできること」と題して講演会を開催しました。講演会では、新しい入試システムに対応し、疑問に感じている点、不安に感じている事柄を中心に、進路の決定に必要な「これからの学び」のあり方、「必要な情報」、「目標」の決定と模試等を活用した努力のための道筋について新入試に向けた最新の各種調査結果や具体的傾向お交えお話をして頂きました。

講演中はポイントとなる部分など、みんなが必死にメモをしながら聞き入る姿に、将来、必ず目標をつかみ取ってくれることでしょう。

## 花づくり委員会

### 花にかこまれ 笑顔にかこまれ

6月に入りいよいよ梅雨入り。今日の活動を待っていたかのように雨があがった6月7日（木）放課後、花づくり委員会1、2年生のメンバーが集まりました。担当していただいている清水先生の号令で、プランター設置班とジャガイモの収穫班に分かれ作業開始。

この日用意された花の苗は、ケイトウや日々草、マリーゴールド、ペゴニアなど色とりどりのものが約1000鉢。全てではありませんが、プランターに植え替え、生徒昇降口を中心に階段付近に設置されました。生徒の中には昨年も花づくり委員として参加した女子も。「わぁーきれい!」「次は何を植えるの?」とプランター設置班。

一方、ジャガイモの収穫班は畑で栽培されたジャガイモを悪戦苦闘で掘り起こし。「イモ掘りなんてひさしぶり」「ここにも残っているぞ!」と慣れない作業ですが、一生懸命土にまみれながらもたくさんのジャガイモを収穫できました。このイモは、乾燥後その一部は試食用として、また一部は近隣の高齢者施設へプレゼントされる予定です。みなさん喜んでくれるといいですね!!

